

## 地域交流サロン事業

### 取り組みの概要

地域のボランティアの方々が主体となって、市内各コミセン・福祉センターなどを利用して運営しています。高齢者や障害者、育児中の親子など地域の方々が、定期的に気楽に集まって、おしゃべりやゲーム、体操などを楽しむことにより、地域での孤独感を解消するほか、住民の相互交流を図り、地域の絆を深めるものです。令和元年度は、市内に30ヶ所、月2～4回開催されています。

社会福祉協議会が設立・運営のサポートをしているほか、会場費などの助成を行っています。帯広市はその事業に対し一部補助金を出しています。

#### 協働の きっかけ

少子高齢社会の進展と核家族化の進行により、地域の住民同士のつながりが希薄化し、特にひとり暮らしの高齢者などが地域で孤立するケースが増加しているなか、高齢者等要援護者の孤立を防ぎ、地域とのつながりをつくることともに、要援護者を地域が把握し、地域で見守ることを目的として、地域のボランティアが集まりスタートしました。

#### 地域福祉課

- ・市内各コミセン・福祉センターなどを提供できる

- ・事業に対する一部補助金の支給



#### 市民、社会福祉協議会

- ・要援護者の把握ができる
- ・高齢者等要援護者の孤立を防ぎ、地域とのつながりをつくる

- ・設立・運営のサポート
- ・会場費などの助成

強み

役割

#### 協働の 成果

引きこもりがちなひとり暮らしの高齢者が気楽に参加し、孤独感の解消につながっています。また、地域での見守りの機能を果たしています。

#### 協働のポイント

障害者や育児中の親子の参加を促すこと、市内全域に拡大していくことなどが課題

